

オウバアキリ

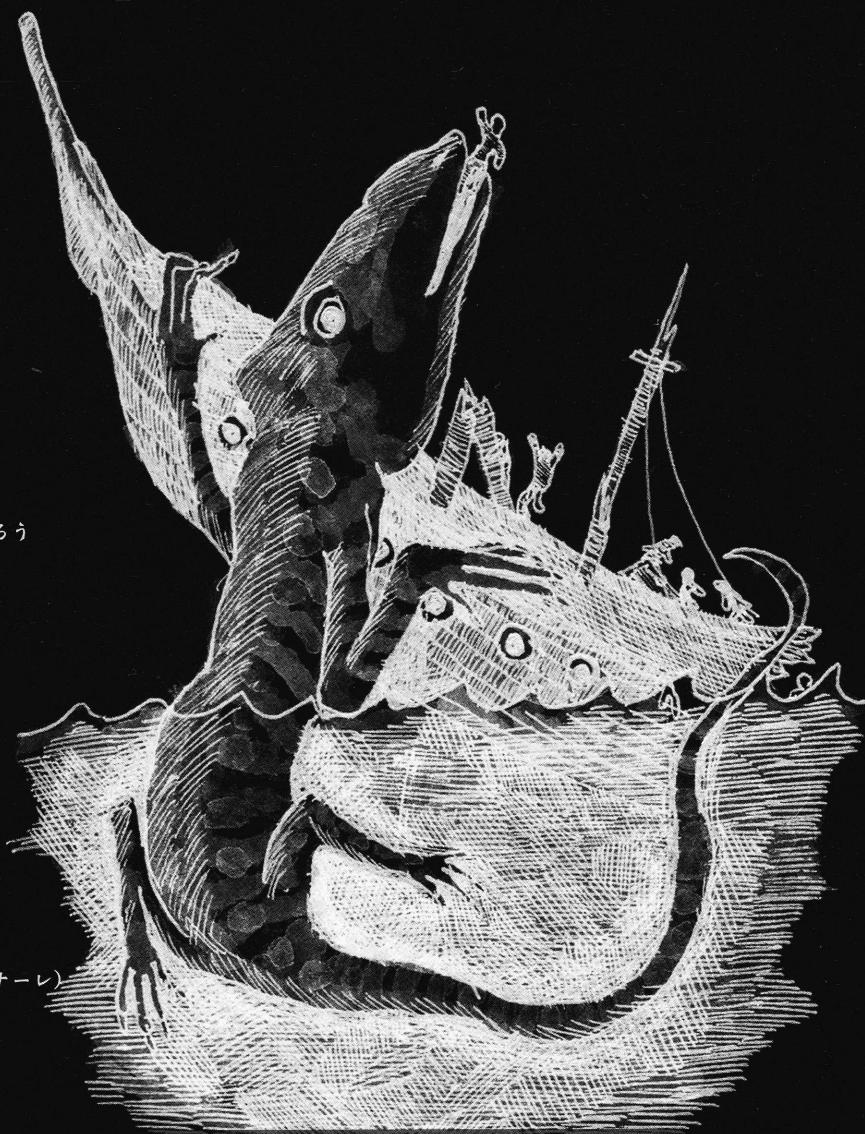
作 / 三角みづ紀 演出 / 藤谷清六

Program

私を底辺として
快晴の過程で
低空
ソナタ
イマワノキワ
妄想癖
乾いた隙間
帆をはって
ただれた世界
きす
夜驚
私達はきっと幸福なのだろう
----- 休息 -----
回帰線
プレゼント
しゃくやくの花
夏日
素晴らしい日々
花売り
にんげんの飼い方
予鈴
まちがいさがし
灰神樂
あした、せかいが (フィナーレ)

発端はあなたが理解できない言語を使いはじめたこと。
そうして鳥のように窓からいなくなつて、
羽は濡れるものではない、と、
叫びながら途方に暮れた。

三角みづ紀
「夜の分布図」より



絵 関根 悠一郎

スタッフ

演出助手 / 小野 諭佳梨 舞監 / 清野知之 同助手 / 高橋 誠・相原 和也・中村 篤志・内藤隆彰 照明 / 飯野 洋光 音響 / 塚田仁
舞台美術 / 志村 陽子 大道具 / 飯野 洋光 記録係 / 島津久美子 メイク / 田中 来実 衣装・ヘアーメイク / 小林 淑子 タイトル文字 / 石原 美歩
ペインター / 鎌倉 博美 ウィンチ操作 / 山田 寛幸・平岩 悠 制作 / 土井マチ子 映像 / 鷹野 亮司 宣伝デザイン / ツービッツ
広報 / 松永 博美 插絵 / 関根 悠一郎 プロデューサー / 山本 真樹 A・プロデューサー 小林 由季

★公演日 / 2013年8月31日(土)18:00開場 18:30開演
9月 1日(日)13:30開場 14:00開演

★場所 : 甲府桜座 <http://www.sakuraza.jp> ★制作 : 東京担当 (株) 明治書房・守屋杉男

★入場料 / 前売券 2,000円 当日券 2,500円 (全席自由) (中・高生 1,000円 / 小学生以下無料)

★お問い合わせ / 土井マチ子 : 090-4932-8147 メール kuninakadoi063@docomo.ne.jp

藤谷清六 : 090-3244-8006 メール maki@mozidas.co.jp



月田秀子 (ファド)

九十九里浜に近い房総の片隅で、朝はこじゅけいの「チョットコイ」の元気な鳴き声で目を覚みます。虫の声、鳥の声、蝉しぐれ、蜂の羽音、林を吹きすぎる風の音の中で、キュウリ、ナス、ゴーヤ、トマト、うり、すいか、おくら等夏野菜と会話しながら、雑草を引き抜くのが午前の日課です。深く根を張りはびこる草に「私たちの運動はこうあるべきなのかも」なんて感心しながら。人の声といえば、時たま流れる有線のお知らせの声くらい。そして時々霞が関の「脱原発と命を守るテント」前で奇声を上げています。



清水えみこ (薩摩琵琶)

最近、目覚めると「ああ幸せ」って自然に呟いている。昨日のこと、これまでのこと、既に三分の一は忘れているけれど。とにかくハッピーな一日のスタートなので！先日、8月3日にザルツブルグ音楽祭へ行き、ワインフィルのソロヴァイオリニスト、ズッカーマンの魔法の如き弦さばきと音色に酔いしれ、はたまたオーストリアワインに酔いしれ、夢の続き？をまだまだ見ている黒装束の琵琶ちゃんです。本日は皆様に感謝。



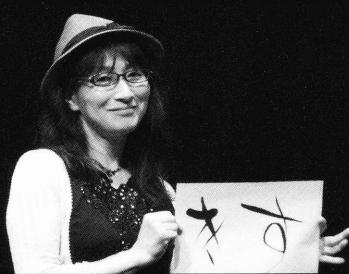
鈴木つな (コンテンポラリーダンス)

「蜥蜴」……爬虫類が蛇行する背骨の動きは、地上に美しいsinカーブを描く。ノ動くノ止まるノの断続的デジタルな動きは極めて数学的である。「私」……地球の重力に縛られ続けている身体は常に揺れ動き、感情に支配されている。今回、ほんのわずかその制約から解放される感覚を得た私は、意気揚々と「蜥蜴」を身にまとひ、転ばぬように針の穴ほどのバランスを求めて動き続けている。



舞台美術 志村陽子

現代美術の表現方法の一つであるインスタレーション作品を主に発表。一貫して、人の目には見えない「生命」の世界の表現を県内外にて試みている。桜座の空間を、三角みづ紀さんの「生」の世界に変化させたい。2011年、2013年、中之条ビエンナーレに参加。



タイトル文字 書家 石原美歩

字書きとは……発する事のできない言葉を文字で表し、表現すること……。言葉にできない、だけど相手に伝えたい！一気集中して書き上げたからか。寝ても尚、朝まで夢の中で書き続けていた。字書きの宿命と苦悩……。タイトル文字を楽しんでいただきたい。



作曲・オペレッタ指導 エリナ

藤谷さんとは思えば長いお付き合いでの舞台で作曲をさせていただきました。私は現在『チャイルドフード』としてポップスを歌ってますが、学生の時はミュージカルを学んでいました。ポップスとミュージカル。同じ『歌』でも表現の違いが大きく異なります。藤谷作品に関わるたび、役者さんと一緒に私自身も成長させていただけることに、心から感謝しています。



三角みづ紀 (みすみみづき)

1981年鹿児島生まれ。東京造形大学デザイン学科卒。
22歳で現代詩手帖賞を受賞、処女詩集「オウバアキル」で第10回中原中也賞受賞。

公式ウェブサイト <http://misumimizuki.com>
Twitter <https://twitter.com/misumimizuki>

三角みづ紀 作品リスト

- ◎ 詩 (kindle版) 「夜の分布図」
- (単行本) 「オウバアキル」・「はこいり」・「錯覚しなければ」・「骨、家へかえる」・「カナシヤル」
- (絵本) 「あした、せかいが」
- ◎ エッセイ (単行本) 「幸せのカタチ」
- ◎ CD 「幻滅した」・「悪いことしたでしょうか」

「お礼の言葉」演出 藤谷清六

上演許可を下された若き詩人『みづ紀さん』有難う御座いました。三角みづ紀さんの詩には装飾がありません。ただひたすらに正直です。心の底にズシンと響きます。『彼女の詩を複数の役者さんによる演劇として・・立体化したかった！』それには月田さんのファド・鈴木さんのコンテンポラリーダンス・清水さんの薩摩琵琶・志村さんのインスタレーション作品・エリナの作曲・書家石原さんのタイトル文字など異分野のアーティストたちとのコラボレーションがどうしても必要でした。ここにあらためて上記の皆様方に心よりの感謝を申し上げます。ところで、今回は役者たちの演技指導を『演出助手・小野論佳梨』さんに一任しました。彼女が作者の三角みづ紀さんと同世代だからです。そしてこのことは私たちにとってとても大きな収穫でした。一方私は、美術・大道具・小道具・衣装・マイク・音響等々の舞台を支える様々なビジュアル的、テクニカルな仕事の統括に専念致しました。お陰様でいつもとは異なる裏方の楽しみを経験致しました。最後にキャスト・スタッフを始め、この公演にご協力頂いたすべての方々、特に多額のご寄付を戴いた(株)明治書房の守屋杉男社長に深く感謝申し上げます。そして本日お越し頂きました観客の皆様に心底より御礼申し上げます。

『有難う御座いました。』来年もまたどこかでお会い出来ることをとても楽しみにしております。